平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年２月９日

上 場 会 社 名　鬼怒川ゴム工業株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　５１９６　URL http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 関 山 定 男
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　(氏名) 嶋 津 智 昭　(TEL)043(259)3114
四半期報告書提出予定日　平成24年２月９日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	52,597	6.9	6,306	8.6	6,413	10.0	4,322	25.7
23年３月期第３四半期	49,223	32.4	5,805	120.4	5,831	114.9	3,440	90.5

(注)　包括利益　24年３月期第３四半期　4,231百万円(33.1%)　23年３月期第３四半期　3,180百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第３四半期	64　65	―
23年３月期第３四半期	51　25	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	46,619	20,533	42.8
23年３月期	42,379	16,847	37.5

(参考)　自己資本　24年３月期第３四半期 19,965百万円　23年３月期 15,874百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―	0　00	―	5　00	5　00
24年３月期	―	0　00	―		
24年３月期(予想)				6　00	6　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	70,000	8.4	8,500	14.7	8,500	13.5	5,200	16.4	77　33

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規　　―社（　　―)、除外　　―社（　　―)

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　有

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	67,299,522株	23年３月期	67,299,522株
②　期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	60,140株	23年３月期	175,706株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	66,862,937株	23年３月期３Ｑ	67,128,361株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10
※ 平成24年３月期第３四半期決算概要（参考資料）

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、震災後の供給制約が解消し景気は持ち直しに向かったものの、海外経済の減速や超円高により横ばい状態となっています。

当社の主要得意先の自動車生産は、国内は前年同期比で微増となりました。海外は新興国を中心とした販売の増加により、約１割増加しました。グローバルでは前年同期比で約１割の増加となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、５２５億９千７百万円（前年同期比6.9%増）となりました。部門別の売上高は、中国での生産量増加により、車体シール部品は２４１億４千４百万円（前年同期比7.9%増）、防振部品は１１９億７千６百万円（前年同期比7.6%増）、ブレーキ部品は１０３億７千７百万円（前年同期比0.3%増）、その他製品及びその他事業は、それぞれ５２億８千６百万円（前年同期比14.4%増）、８億１千２百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

損益につきましては、グループをあげた減産対応、モノ造り改善活動のグローバル展開、徹底した調達コスト改善活動等を継続した結果、営業利益は６３億６百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は６４億１千３百万円（前年同期比10.0%増）となりました。四半期純利益は、税金費用の計上などにより、４３億２千２百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、震災の影響があったものの、主要得意先の自動車生産台数の増加により、３９６億２千８百万円（前年同期比3.6%増）となりました。営業利益は、徹底したモノ造り改善活動・調達コスト改善活動の継続により、４６億２千５百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

[米州]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の増加により、２９億５百万円（前年同期比7.1%増）となりました。営業損益は、メキシコのモノ造り改善活動が定着しつつありますが、材料市況の高騰の影響を吸収し切れず、２千１百万円の損失（前年同期は１億５千３百万円の利益）となりました。

[アジア]

売上高は、中国の自動車生産台数が引き続き増加したことにより、１００億６千３百万円（前年同期比21.8%増）となりました。営業利益は、材料市況の高騰によるマイナス要因はあったものの、操業度の上昇や材料の現地化・モノ造り改善活動の効果により、１７億円（前年同期比16.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて受取手形及び売掛金が４８億６千７百万円増加したことなどにより、５３億８千９百万円増加の２４５億１千６百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が９億４百万円減少したことなどにより、１１億４千９百万円減少の２２１億３百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて４２億３千９百万円増加の４６６億１千９百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が１９億７千２百万円増加したことなどにより、２２億５千４百万円増加の１９０億３千７百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が１４億１千９百万円減少したことなどにより、１７億円減少の７０億４千８百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて５億５千３百万円増加の２６０億８千６百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が３９億８千６百万円増加したことなどにより、３６億８千５百万円増加の２０５億３千３百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、在外連結子会社等の収益及び費用は連結決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外連結子会社等の重要性が増加傾向にあり、また、一定期間の収益及び費用を換算するにあたり、一時点の為替相場を用いるより期中平均相場を用いることがより適正な情報開示に資すると判断したため、第１四半期連結会計期間より、期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、当社における決算書類等の文書保存期間は10年と規程されているため遡及適用に係る原則的な取扱いが実務上不可能であることから、平成13年４月１日より期中平均相場により円貨に換算する方法を適用しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第３四半期連結累計期間の営業利益は65,170千円、経常利益は57,652千円、税金等調整前四半期純利益は57,696千円それぞれ増加しております。また、利益剰余金の前期首残高は164,552千円増加、為替換算調整勘定の前期首残高は162,859千円減少しております。

(追加情報)

第１四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,574,988	2,484,438
受取手形及び売掛金	10,995,647	15,862,652
商品及び製品	1,818,561	1,496,154
仕掛品	1,067,789	1,243,603
原材料及び貯蔵品	1,760,870	2,043,316
その他	979,685	1,442,301
貸倒引当金	△70,703	△56,411
流動資産合計	19,126,839	24,516,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,151,903	4,846,096
機械装置及び運搬具（純額）	3,838,353	3,522,221
工具、器具及び備品（純額）	921,480	638,476
土地	10,379,073	10,332,734
建設仮勘定	157,123	203,764
有形固定資産合計	20,447,934	19,543,295
無形固定資産		
のれん	91,751	196,931
その他	406,777	305,072
無形固定資産合計	498,528	502,004
投資その他の資産		
投資有価証券	1,822,830	1,536,955
その他	505,166	541,938
貸倒引当金	△21,462	△20,661
投資その他の資産合計	2,306,534	2,058,232
固定資産合計	23,252,997	22,103,532
資産合計	42,379,837	46,619,588

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,125,525	9,097,642
短期借入金	3,359,795	3,660,949
1年内返済予定の長期借入金	2,532,153	2,002,587
未払費用	434,435	1,707,628
未払法人税等	1,193,970	1,115,013
賞与引当金	806,452	464,426
その他	1,330,902	989,394
流動負債合計	16,783,235	19,037,642
固定負債		
長期借入金	3,977,330	2,558,278
退職給付引当金	1,664,711	1,683,237
役員退職慰労引当金	201,273	166,752
その他	2,905,801	2,640,425
固定負債合計	8,749,117	7,048,693
負債合計	25,532,352	26,086,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	621,302	849,597
利益剰余金	8,944,682	12,931,484
自己株式	△33,979	△24,096
株主資本合計	15,186,590	19,411,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,601	△1,566
土地再評価差額金	2,229,771	2,509,221
為替換算調整勘定	△1,549,342	△1,953,867
その他の包括利益累計額合計	688,031	553,787
少数株主持分	972,863	567,893
純資産合計	16,847,484	20,533,251
負債純資産合計	42,379,837	46,619,588

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	49,223,139	52,597,960
売上原価	38,852,298	41,459,948
売上総利益	10,370,840	11,138,011
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	881,045	886,467
従業員給料及び賞与	1,419,392	1,415,986
法定福利及び厚生費	295,275	297,069
退職給付費用	107,961	106,080
賞与引当金繰入額	64,108	81,662
役員退職慰労引当金繰入額	27,546	30,633
減価償却費	130,601	128,207
賃借料	157,692	140,301
消耗品費	107,610	124,775
のれん償却額	39,632	55,930
その他	1,334,346	1,564,813
販売費及び一般管理費合計	4,565,215	4,831,929
営業利益	5,805,625	6,306,082
営業外収益		
受取利息	5,289	12,679
受取配当金	3,760	3,875
持分法による投資利益	255,222	96,075
固定資産賃貸料	38,072	41,089
その他	114,984	194,414
営業外収益合計	417,329	348,135
営業外費用		
支払利息	178,692	115,631
為替差損	133,177	72,494
その他	79,615	52,895
営業外費用合計	391,485	241,022
経常利益	5,831,469	6,413,195

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4,349	4,175
役員退職慰労引当金戻入額	5,143	―
その他	2,924	977
特別利益合計	12,417	5,152
特別損失		
固定資産売却損	―	36,136
固定資産除却損	37,956	16,581
割増退職金	72,073	26,406
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	117,065	―
その他	18,078	19,153
特別損失合計	245,173	98,277
税金等調整前四半期純利益	5,598,712	6,320,070
法人税等	1,977,173	1,874,446
少数株主損益調整前四半期純利益	3,621,539	4,445,623
少数株主利益	181,231	122,701
四半期純利益	3,440,308	4,322,922

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,621,539	4,445,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,467	△8,842
土地再評価差額金	―	279,449
為替換算調整勘定	△358,445	△458,075
持分法適用会社に対する持分相当額	△87,500	△27,006
その他の包括利益合計	△441,477	△214,474
四半期包括利益	3,180,061	4,231,149
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,017,861	4,189,551
少数株主に係る四半期包括利益	162,199	41,597

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、自動車部品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,628,915	2,905,320	10,063,724	52,597,960	―	52,597,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,598,082	―	436,568	2,034,650	△2,034,650	―
計	41,226,998	2,905,320	10,500,292	54,632,611	△2,034,650	52,597,960
セグメント利益又は損失(△)	4,625,669	△21,004	1,700,753	6,305,418	663	6,306,082

(注)１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、会社の経営管理上、地域別にパフォーマンスを重視するようになったため、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、「日本」、「米州」及び「アジア」の３つを報告セグメントとしております。

当該変更に伴う四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は以下のとおりです。

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,245,361	2,712,191	8,265,586	49,223,139	―	49,223,139
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,435,172	―	311,167	1,746,339	△1,746,339	―
計	39,680,533	2,712,191	8,576,753	50,969,478	△1,746,339	49,223,139
セグメント利益	4,186,735	153,655	1,464,357	5,804,748	876	5,805,625

(注)１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

平成２４年２月９日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　５１９６

参 考 資 料

平成２４年３月期 第３四半期 決算概要

[連結決算]

１．業績

(単位：百万円)

	当第３四半期累計期間実績 (H23/4～H23/12)		前第３四半期累計期間実績 (H22/4～H22/12)		増減	
売 上 高	52,597	100%	49,223	100%	3,374	6.9%
営業利益	6,306	12.0%	5,805	11.8%	501	8.6%
経常利益	6,413	12.2%	5,831	11.8%	582	10.0%
四半期純利益	4,322	8.2%	3,440	7.0%	882	25.7%
1株当たり四半期純利益	64.65 円		51.25 円		13.40 円	

２．貸借対照表

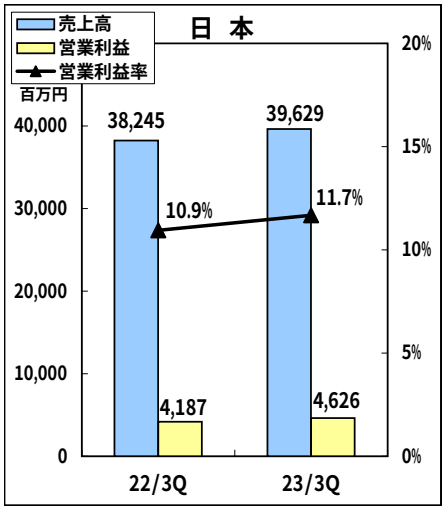
(単位：百万円)

資 産 の 部				負債・純資産の部			
科目	第３四半期	前期	増減	科目	第３四半期	前期	増減
流動資産	24,516	19,127	5,389	流動負債	19,037	16,783	2,254
現・預金	2,484	2,574	△90	買入債務	9,097	7,126	1,971
売掛債権	15,862	10,995	4,867	借入金	5,663	5,892	△229
棚卸資産	4,783	4,647	136	その他	4,277	3,765	512
その他	1,387	911	476	固定負債	7,049	8,749	△1,700
				借入金	2,558	3,977	△1,419
				退職給付引当金	1,683	1,665	18
				その他	2,808	3,107	△299
				(負債計)	26,086	25,532	554
固定資産	22,103	23,252	△1,149	株主資本	19,411	15,186	4,225
有形固定資産	19,543	20,447	△904	資本金	5,654	5,654	-
無形固定資産	502	498	4	資本剰余金	849	621	228
投資その他	2,058	2,307	△249	利益剰余金	12,932	8,944	3,988
				自己株式	△24	△33	9
				評価・換算差額等	554	688	△134
				少数株主持分	568	973	△405
				(純資産計)	20,533	16,847	3,686
合計	46,619	42,379	4,240	合計	46,619	42,379	4,240

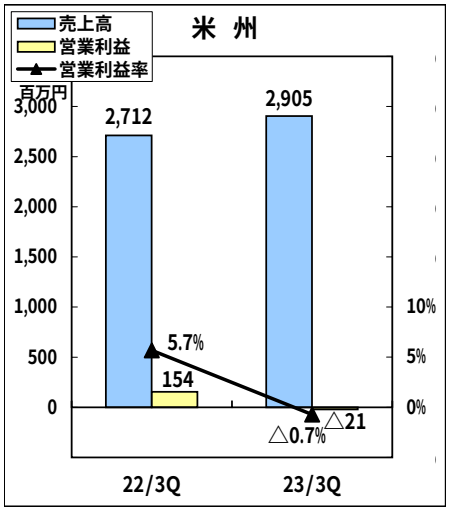
注) 主なＢ/Ｓ指標

自 己 資 本 比 率	42.8%	37.5%	5.3%
総 資 本 回 転 率	1.5回	1.5回	0.0回
総資本経常利益率	18.3%	17.7%	0.6%
Ｄ Ｅ Ｒ	0.4倍	0.6倍	0.2倍

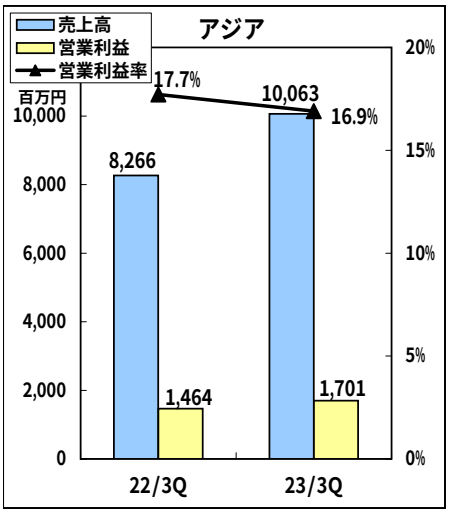
３．地域別セグメント情報



主力の車体シール事業に加えてホースや防振事業のモノ造り改善が進んだ結果、着実な収益力アップに繋げることができた。

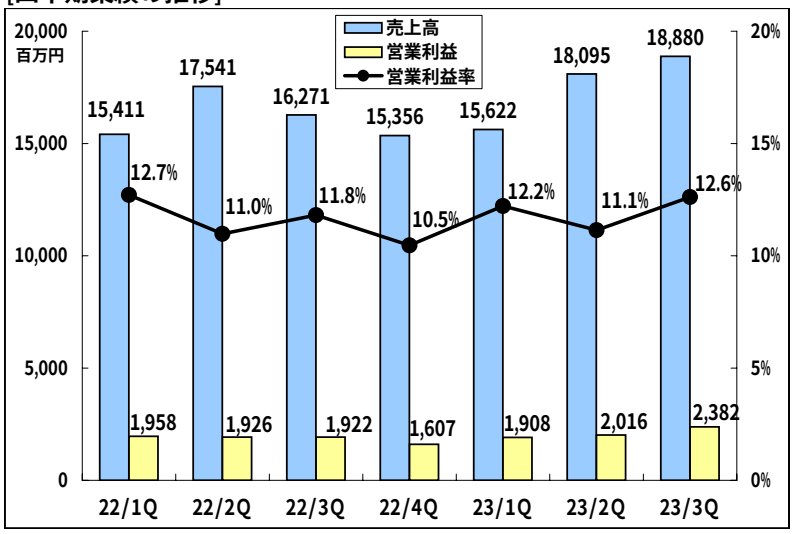


メキシコ新工場立ち上げによるコスト増の影響により一時的に赤字となったが、グループをあげたモノ造り支援活動により通期では黒字化の見通しである。



材料市況の高騰のマイナス影響を若干引きずっているものの、操業度の上昇や材料の現地化・モノ造り改善活動の効果により増収増益を達成した。

[四半期業績の推移]



[当第３四半期の主な活動内容]

１．モノ造りの更なる改善
・セル化、直結化、近接化、整流化等の工程改善と海外拠点への水平展開実施

２．材料の汎用化によるグローバル調達の推進
・廉価材の発掘と製品への応用
・海外拠点の現地調達率アップ

３．拡販の推進
・既存顧客と欧米系カーメーカーへの新規受注活動

４．中期経営企画 (Kinugawa Challenge 2015) 発表
・初めて中期経営計画を外部発表
(目標値：2015年度売上高1,000億円、営業利益率12%以上)